

(5) 工芸作物

① 茶

(ア) 現在の影響状況

本事業において実施した自治体へのアンケート結果によると、気候変動による茶への影響として、病虫害の発生や凍霜害の発生、収量の減少、収穫適期の短縮といった影響が報告されています。また、平成 30 年 10 月に公表された農林水産省「平成 29 年地球温暖化影響調査レポート」では、表 3.7-8 に示す茶への影響が経年的に報告されています。

表 3.7-8 茶への影響一覧

	全国 (47)	北日本 (7)	東日本 (17)	西日本 (23)	参考			
					H28	H27	H26	H25
生育障害の発生	7	0	1	6	8	6	9	11
凍霜害の発生	3	0	0	3	4	4	6	6
生育早期化・摘取集中	2	0	0	2	—	—	—	—
病虫害の発生（アザミウマ類、ハダニ類等）	1	0	0	1	3	4	4	4

(イ) 将来予測される影響

本事業において実施した自治体へのアンケート結果によると、「病虫害」の発生、「収量の減少」、「凍霜害の発生」、「生育期」の変化といった影響に対する情報提供が求められています。現状の研究状況に鑑みると、近畿地域を含んで定量的に影響評価が実施されているのは、「病虫害」に留まります。ここでは、「病虫害の発生」に関する将来の影響を示します。

■ 病虫害

病虫害について、ここでは「世代数」を評価対象としました。また、害虫として、チャノホソガを対象としました。「世代数」の計算式は定式化されているため（Yamamura et al. (1998)³⁶⁰）、その手法にもとづき影響評価を実施しています。

なお、ある程度気温が上昇すると、害虫の発育が停止することが予測されています。本事業においては、このことを示す発育停止温度や発育阻害温度については考慮していないことに注意下さい。

世代数が増加したとしても、作物が害虫に抵抗力のあるステージにあれば、影響は生じないことも予想されます。したがって、世代数の増加が必ずしも作物への影響につながるわけではないことに留意下さい。

³⁶⁰ Kohji Yamamura and Keizi Kiritani (1998) : A simple method to estimate the potential increase in the number of generations under global warming in temperate zones., Appl. Entomol. Zool., 33 (2) , 289-298

【全国】

世代数が増加することが分かります（図 3.7-41）。

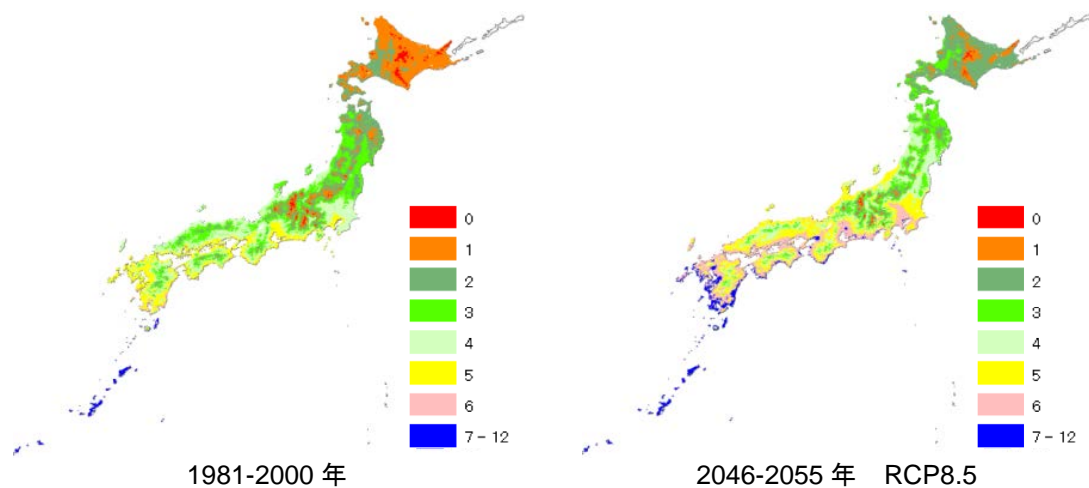


図 3.7-41 チャノホソガの世代数

【近畿】

世代数が増加することが分かります（図 3.7-42）。

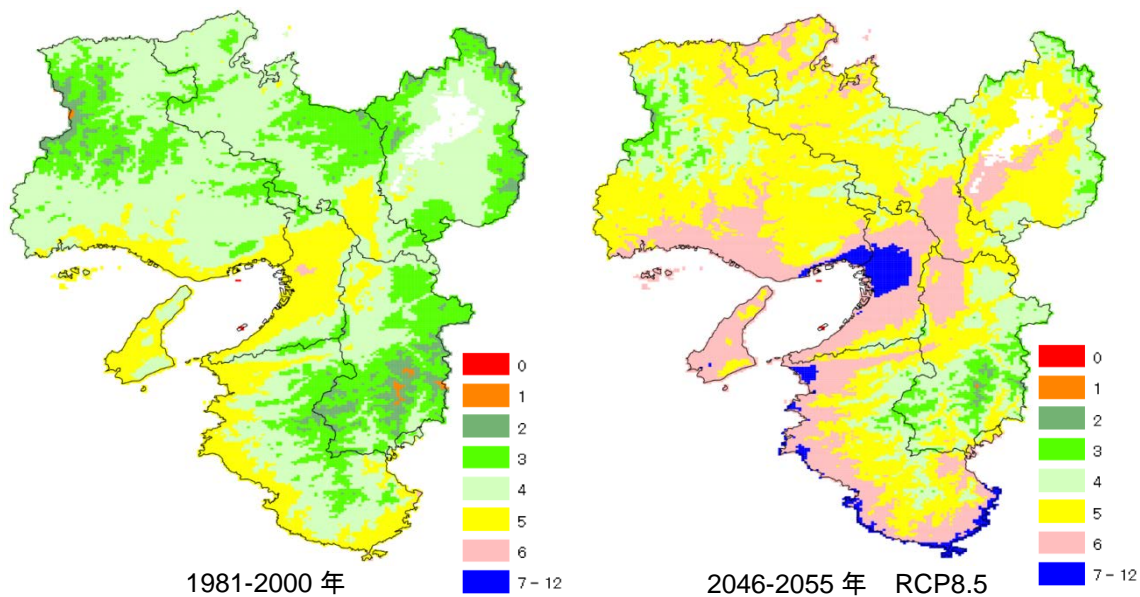


図 3.7-42 チャノホソガの世代数（近畿地域）

(ウ) 適応策

茶への影響に対する適応策については § 5.2.5.1 を参照下さい。